

## 「がくどう 「号堂ブックオブザイヤー2025」の発表について

一般財団法人尾崎行雄記念財団(所在地:東京都千代田区永田町1丁目8番地1号)は、このたび「号堂ブックオブザイヤー2025」を下記のとおり選定しましたのでお知らせいたします。

当財団研究員ならびに役員、「号堂塾」運営委員が中心となって選考に当たり、今年を代表するにふさわしい政治関連等書籍(部門別大賞21席、相馬雪香特別賞4席)が選出されました。

### 【部門別大賞】(単著/共著順、50音順)

総合部門	・ <a href="#">1日1話、読めば心が熱くなる365人の人間学の教科書</a> 他2作 (藤尾秀昭監修、致知出版社)
国政部門	・ <a href="#">「民のかまど」をあたためる 経世済民論</a> (落合貴之著、あけび書房) ・ <a href="#">子どもは誰のものか?</a> (嘉田由紀子著、文春新書) ・ <a href="#">菅義偉 官邸の決断</a> (菅義偉著、ダイヤモンド社) ・ <a href="#">「手取りを増やす政治」が日本を変える</a> (玉木雄一郎著、河出書房新社) ・ <a href="#">18歳になる君へ 政治家という選択</a> (細野豪志著、徳間書店) ・ <a href="#">女性議員は「変な女」なのか</a> (辻元清美/野田聖子著、小学館新書)
地方部門	・ <a href="#">わたしがいる あなたがいる なんとかなる</a> (奥田知志著、西日本新聞社) ・ <a href="#">獺祭 経営は八転び八起き</a> (桜井博志著、西日本出版)
選挙部門	・ <a href="#">法が招いた政治不信</a> (郷原信郎著、KADOKAWA) ・ <a href="#">「AI議員」が誕生する日</a> (高橋茂著、集英社インターナショナル新書) ・ <a href="#">SNS選挙という罠</a> (物江潤著、平凡社新書)
メディア部門	・ <a href="#">記者は天国に行けない</a> (清武英利著、文藝春秋) ・ <a href="#">持続可能なメディア</a> (下山進著、朝日新書) ・ <a href="#">エモさと報道</a> (西田亮介著、ゲンロン)
外交部門	・ <a href="#">日中外交秘録 垂秀夫駐中国大使の闘い</a> (垂秀夫著、文藝春秋) ・ <a href="#">匿名への情熱—政治と知的世界をつないだブレーン楠田實</a> (和田純著、吉田書店) ・ <a href="#">ウクライナ危機以後:国際社会の選択と日本</a> (加茂具樹編著、廣瀬陽子、森聰、渡辺将人、鶴岡路人、土屋大洋、藤田元信、古谷知之、神保謙著、東洋経済新報)
安全保障部門	・ <a href="#">自衛隊に告ぐ</a> (香田洋二著、中央公論新社) ・ <a href="#">ウクライナ企業の死闘</a> (松原実穂子著、産経セレクト新書) ・ <a href="#">CBRNE戦記 平和国家の国民の命は軽い</a> (山口芳裕著、産経新聞出版)
【相馬雪香特別賞】	・ <a href="#">戦争犯罪と闘う 国際刑事裁判所は屈しない</a> (赤根智子著、文春新書) ・ <a href="#">紛争下を生きる女の子の物語／気候変動に立ち向かう3人の女の子の物語</a> (プラン・インターナショナル・ジャパン著、村田順子画、Kawaii-winpress) ・ <a href="#">オマルの日記 ガザの戦火の下で</a> (オマル・ハマド著、最所篤子訳、海と月社) ・ <a href="#">私はリーダーに向いてない: My Leadership Journeys 2021-2025</a> (福岡女子大学編)

以上

＜お問い合わせ先＞尾崎行雄記念財団事務局 石田・高橋([info@ozakiyukio.jp](mailto:info@ozakiyukio.jp))  
ホームページ <https://ozakiyukio.jp/gakudojuku/book2025.html>